

卒後研修委員会

指導医、研修医との

交流会を開催して

卒後研修担当理事 西 平 綾 子

平成16年度から開始された新卒後研修制度では、プライマリ・ケアが重視されている点から、診療所医師等による研修医の指導（地域医療保健研修）もプログラムの中に含まれております。北区医師会では病診連携の一環として北区内の研修指定病院（北野病院、済生会中津病院、住友病院）の研修医の地域医療研修に積極的にかかわってきております。北区医師会で毎年開催している指導医、研修医との「交流会」は府医で開かれている指導医と研修医の交歓会を参考に平成19年度から開催されています。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で交流会自体の中止や、会食は行わずお弁当の持ち帰りにて開催されておりましたが、今年度は5年ぶりに立食形式にて開催することができました。

令和6年10月19日（土）、アンピールホテル大阪（山西福祉記念会館）にて「交流会」に先立ち、第202回学術講演会を開催しております。この学術講演会は研修医が参加されるということ、日常診療で遭遇する一般的な疾患・症候に対する基本的な知識や総論的なテーマを選んでいます。今年度は住友病院 腎臓・高血圧内科 診療主任部長 森島淳之先生より「腎不全診療の基本と最近の知見ー新しい薬剤、注意すべき薬剤」といった演題でご講演頂きました。高齢化とともに増加傾向の慢性腎臓病について一般的な定義や検査、また慢性腎臓病領域での新しい薬、腎臓に負担をかける薬剤、慢性腎臓病を地域で診療していくための連携について大変分かりやすいご講演でした。学術講演会の後、会場を同ホテルのホールへ移動し、研修医、病院の指導医、診療所の指導医が集まり「交流会」が開催されました。太田祥彦副会長に開会のご挨拶、乾杯のご発声を賜り、アルコールの提供もあり、お食事しながらリラックスした雰囲気での会が執り行われました。今年度は研修医、指導医合わせて40名の参加がありました。

当日の出席者（敬称略） 40名参加

北区医師会

副 会 長 …… 太田祥彦

研 修 医 …… 田中和音、秋山蒼、上山祐志、北川瑞

日裏将躍、江原佳輝、阪上陽菜、屋

鋪宗一郎、山野智一（以上、北野病院）

三好稀夕、辛泰暉、池側佑哉、荻野

航宇、鏡畑英昭、高木涼嗣、平岩伸

元（以上、住友病院）

西山慧、井谷匠、堅田浩史、加藤照季、

佐々木頼広、豊田璃緒夏、西川昂宏、

西畑光騎、藤原史規、米澤英政（以上、

大阪府済生会中津病院）

病院指導医 …… 井上大生（北野病院） 山本浩司（住

友病院） 安井良則（大阪府済生会中

津病院） 藤原竜童（大阪府済生会中

津病院）

診療所指導医 …… 西平綾子（にしひら内科クリニック）

澤田宏子（澤田内科医院） 片岡晃哉

（兵田クリニック） 大原裕彦（大原ク

リニック） 西木正照（西木診療所）

オブザーバー …… 向井秀幸（北野病院） 宇高不可思、

阪口勝彦、森島淳之（以上、住友病院）

「交流会」では各病院の研修医代表に地域医療研修の報告を、スライドを用いて発表して頂きました。北野病院からは田中和音先生より新潟県村上市の村上総合病院でのへき地医療の経験をも、また秋山蒼先生からは西木診療所での在宅医療や福田クリニックでの研修内容をご発表頂いております。住友病院の三好稀夕先生からは中村診療所やセンプククリニック、兵田クリニックをはじめとした北区内での診療所での研修、そして済生会中津病院西山慧先生からは福島県川俣町の済生会川俣病院、そして連携されている高齢者施設や診療所での地域医療研修をご発表頂きました。それぞれ研修を通して地域包括ケアにおける診療所や地域密着型病院の役割を理解されたようで、大変興味深く聞かせて頂きました。その後病院指導医からもコメントを頂き、参加された研修医全員に簡単な自己紹介もして頂きました。診療所指導医からもコメントがあり、最後は研修医と指導医で記念撮影を行い、会を終了しました。今回は本出撃会長の参加ができませんでしたが、研修医の先生方に向けて熱いメッセージも預かりご報告させて頂いております。学術講演会で座長を務めて頂きました阪口勝彦先生には最後まで交流会にも参加頂きありがとうございました。また北区医師会会長をはじめ医師会の役員、病院の指導医の方々、医師会事務局員の皆様にサポート頂き無事開催できましたことを感謝致します。

北区医師会では日医、府医主催で開催されております「指導

医のための教育ワークショップ」の参加費の半額を負担しております。また、診療所での研修医の受け入れは週1回×1か月というパターンだけでなく、月に1回だけといった色々なパターンがあります。これからの医療を担う研修医に対する地域医療研修にできるだけ多くの医師会員の参加をお願いできたらと思います。

指導医・研修医との「交流会」

日時：令和6年10月19日(土)14:00～

場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール



指導医・研修医との「交流会」

日時：令和6年10月19日(土)14:00～

場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール



指導医・研修医との「交流会」

日時：令和6年10月19日(土)14:00～

場所：アンピールホテル大阪 3階 ホール



【卒後研修の感想】

1ヶ月間の地域医療実習を終えて

北野病院 矢野 城

北野病院初期研修2年目の矢野城と申します。今回は、1ヶ月間の地域医療実習で経験したことや学んだことについて述べたいと思います。この実習では、地域医療の意義や役割を理解するとともに、患者さんを全人的に診る姿勢を学ぶことを目標として臨みました。

私は月曜日は土屋医院、火曜日はほしやまクリニック、水曜日はセンプククリニック、木曜日は福効医院、金曜日は泉岡医院で研修を行いました。それぞれのクリニックには独自の特徴があり、地域住民の多様な医療ニーズに応える姿を間近で学ぶことができました。また、在宅医療の現場にも同行し、患者さんの生活環境を含めた包括的なケアの重要性を実感しました。

特に印象に残ったのは、水曜日に訪れたセンプククリニックでの経験です。ここでは西洋医学に加えて東洋医学も学ぶ機会がありました。漢方を用いた治療方法について学び、症例を通して患者さんごとに適した治療を柔軟に提供する姿勢が大変勉強

になりました。この経験は、医療の多様性を理解し、自分自身の診療スタイルを広げる貴重な機会となりました。

地域医療における重要な学びとして、かかりつけ医の役割を再認識しました。患者さんの生活状況や病歴を最もよく知る存在として、些細な変化にも気づき、必要に応じて高次医療機関と連携を取ること、適切な治療につなげていました。また、地域の一員として日常生活の相談にも応じる姿を見て、患者さんにとって安心できる医療の提供がいかに大切かを感じました。

1ヶ月間を通じて、地域医療機関の役割の多様性を学び、医師としての視野を広げることができました。診療所の先生方からは医学的な指導だけでなく、人生の先輩としてのアドバイスもいただき、医師としてだけでなく一人の人間として成長できたと感じています。忙しい日々の中で丁寧にご指導いただいた先生方には心から感謝申し上げます。この経験を今後の診療に活かしていきたいと思っています。

地域研修を終えて

済生会中津病院 初期研修医2年目 佐藤 侑衣子

今回地域研修として、大分県の済生会日田病院に3週間、西木診療所、澤田内科、兵田クリニック、大原クリニック、太田クリニックで研修をさせていただきました。

済生会日田病院での研修では、学生の時に講義で学んだ「地域医療」というものを実際に肌で感じる事ができ、自病院での研修では経験出来ないことを多く経験できました。その中でも、訪問診療の同行は大変印象的でした。そこでは先生が看護師さんとともに、問診や身体診察だけでなく、実際に家庭・住居の状況を確認し、ご家族ともコミュニケーションを取りながら生活背景に沿った医療を提案しておられる姿を拝見し、患者さんと一緒に支えるチームとしてのあり方を実感しました。また、行える医療行為が限られているなかで、適切に必要な医療を判断し提供されておられる姿を拝見し、地域医療の現実、都市部とは必要となる医療ニーズが異なることを実感しました。また住宅だけでなく老人ホームなどの施設も同行させていただき、コメディカルのスタッフの方々とお話しさせていただく機会がありました。コメディカルの方々がどのような目線で患者さんを見て、どのような考えを持って働いているのかも知

ることができ、今後医師として働いていく上でも大変貴重な経験となりました。

近隣のクリニックでの研修では、日々の救急外来との違いを実感するとともに大変多くを学ばせていただきました。クリニックでは私達が普段行っている救急外来とは異なり、行える検査や処置に限りがあります。そのため、問診や身体診察を通して鑑別を絞り込むことの重要さを改めて感じる事ができました。また予約人数も多いため診察時間にも限りがあり、診察のスムーズさも求められるのだと実感しました。適切な問診・身体診察を取り、検査を限られた時間で適切な医療を提供するためには、ベースとなる医療知識はもちろん、患者さんを理解していることが非常に重要であることを実感させられました。来年度から内科専攻医として働かせていただく予定なのですが、この時期に問診や身体診察など医療の基礎に立ち返ることがいかに重要なかを再確認する機会がいただけでよかったです。また、実際に様々なクリニックを1週間見学させていただきましたことで、イメージすることしかできていなかったかかりつけ医の役割・病診連携を改めて学び直すことができ、今後働いていく上で大切な学びになりました。

残り少ない研修医としての時間ではありますが、今回の地域研修での学びを今後医療に還元していけるよう日々努力を積み重ねてまいりたいと思います。地域医療実習のためお世話にな

りました済生会日田病院の方々をはじめ、様々な施設・クリニックの方々にもご協力いただき一ヶ月間実りのある研修にすることができました。本当にありがとうございました。



元北天満小学校（写真：北天満・中崎班）

地域研修を終えて

住友病院 初期研修医2年目 名 和 聖 貴

私は令和6年12月、地域医療研修として、近藤クリニック、生きる育む輝くメンタルクリニック、本出診療所、のぞみハートクリニック、兵田クリニックで1ヶ月間研修をさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

近藤クリニックでは外来診察や上部内視鏡検査を見学させていただきました。かかりつけ医として様々な患者様とコミュニケーションを取りながらのスムーズな診察が特に印象に残っています。また初診患者様の診察をさせていただく機会もいただき非常に良い経験となりました。

生きる育む輝くメンタルクリニックでは、主に発達障害や適応障害、統合失調症、うつ病などの外来診療に加え、ショートケアの参加もさせていただきました。困っていることを丁寧にくみ取り、解決方法を的確に提案されていました。特にショートケアでは患者様と一緒にプログラムに参加させて頂き元来コミュニケーションが苦手であつた私にとって非常に有益な内容でした。将来的な社会復帰に向けての話し合いに参加させていただいたことが印象に残っています。

本出診療所では腹部エコーや一般的な内科診療を見学させて

北区地域研修感想文

三 好 稀 夕

いただきました。的確な診断までのスピードや腹部エコー検査の描出の綺麗さにはとても感銘を受けました。また流行感染症の情報もいち早く収集されており、診療の心構えとして大切なことを勉強させていただきました。

のぞみハートクリニックでは、在宅医療として訪問診療の見学をさせていただきました。在宅医療では、医師、看護師、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、コーディネーター等様々な職種が一丸となって1人の患者様やその家族を診ており、チーム医療の重要性を体感しました。在宅医療において重要なのは、本人・家族との信頼関係構築であり治療の方針を決定するためにも非常に大切な要素だと実感しました。

兵田クリニックでは、ペインクリニックとして整形外科疾患等による疼痛に対して、内服治療や神経ブロックに加え、リハビリ治療を行っていました。身体診察で分かることを患者様にわかりやすく伝えておられ、聞いていて納得の診療と感じました。またペインクリニックの歴史等の話をして頂き非常に充実した研修になりました。

最後になりましたが、快く研修を受け入れて下さり、大変感謝しております。ご指導していただきました先生方、メディカルスタッフの皆様には、この場をお借り御礼申し上げます。末筆ながら、貴院の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

私は2024年8月に地域研修として、当院がお世話になっているクリニックや診療所でご指導頂きました。この度はお世話になった各先生方のところで学んだことや感じたことをご報告したいと思います。

まず中村診療所は中之島フェスティバルタワー18階にあり、京阪中之島線渡辺橋から徒歩2分の非常にアクセスの良い場所にあります。フェスティバルタワーといえばフェスティバルホールが隣接している他、オフィスビルとしても有名であり、ビル内はビジネスマンが多く行き交っております。中村診療所では朝に内視鏡・エコー検査等を行い、その後外来診察を行っております。中村先生は外科、病理科でのご経験があるため、検査から診断まで全てご自身でされておりました。研修中も過去の内視鏡検査や病理検査の結果を元に様々なことを教えていただき、診察・検査・診断まで自ら行うことで各症例ごとに深みを持ち診療に当たることが出来る素晴らしいさを実感しました。また内視鏡検査をする際に患者さんがどうすれば検査中苦しくないか鎮静方法にまで配慮し、一件一件丁寧に検査されていました。実際私も先生のご厚意で上部消化管内視鏡検査をし

ていただいたところ、全く喉の違和感もなく、気がついた頃には検査が終了しておりました。実際患者側に立つことで、検査が苦痛無く終わることへの満足度を実感し、また検査や診断の正確さと同じくらいそれらに伴う痛みや苦しみ、患者さんの不安な気持ちに寄り添うことも大切であることを学ぶことが出来ました。

次にご報告させていただく千福クリニックは西天満にあり、JR東西線北新地駅から徒歩10分の距離で、駅から向かう道中には様々なビルや飲食店が軒を連ねておりました。千福クリニックでは内科のほか東洋医学・漢方を専門としており、診療の他講演会や執筆活動も盛んで幅広く活躍されています。普段の診療の場では東洋医学的な診察や漢方薬を用いる機会が多くなく、最初脈診や腹部診察を見たときは驚きました。特に伺った時期が真夏の暑い時であったため、夏バテを起こされている患者さんも少なくなく、「なんかしんどい、元気がない、食欲がない」といったどんな主訴に対しても、一人一人にあった処方方をされておりました。前の週にしんどそうにして来られた患者さんが翌週や2週間後に元気が戻られ感謝を述べられる姿を見て、私も将来患者さんからそう言って頂けるような医師になりたいと思いました。一番印象に残っている出来事は、心房細動がある患者さんで他院でアブレーションもしましたが動悸が改善せず、来院時も動悸を主訴に来院されました。すると先生

は患者さんを診察台に寝かせ、尺沢という肘のツボに鍼を行ったところ見事に動悸が改善し、心電図波形もAFから正常波形に戻りました。普段東洋医学に触れる機会が無い中、このように治療している様子を拝見し、大変貴重な経験となりました。私も研修終了後、当院で診察をする際脈を両手で触れてみたり、腹部診察でも於血があるか、臍上悸が触れるかなど先生のところで学んだことを実践するようになりました。

最後に報告させて頂く兵田クリニックは大阪駅前第三ビルの18階にあり、大阪駅から非常にアクセスの良い場所にあります。この度ご指導してくださった片岡先生はペインクリニックを専門とされており、色々な部位の痛みや痺れを訴えられる患者さんに寄り添っておられました。こちらのクリニックでは薬物療法その他、リハビリやトリガーポイント注射、ブロック注射など様々な方法で患者さんの痛みを和らげておりました。また痛みのコントロール以外でも骨折や外傷の患者さんもとくさんいらつしやり、老若男女様々な患者さんが来院されておりました。中でも印象的であった出来事は、近年外国人観光客の増加から当院でも様々な国籍の方が来院され、会話の際に音声自動翻訳機を用いても言葉の壁や文化の違いから意思疎通を図ることがなかなかスムーズに行かず、いつも苦戦しながら診療に当たっておりますが、いろいろな患者さんが来院されることに关して先生は「もし逆に日本人が旅行に行った際、言葉の壁があるか

らと言って診てもらえなかったらすごく悲しいから、僕は日本語が通じない患者さんやどんな患者さんであっても診療しています。」とおっしゃっておりました。そのとき先生の優しい心遣いと思いやりに大変感心致し、私もこのような優しい気持ちを持ちながら今後の診察に当たりたいと思いました。また午前の診療が終了し午後の診察までの間、先生に昼食を一緒に一緒に、色々なお話ができてとても楽しい時間を過ごすことができたのも良い経験でした。

お世話になった先生方誠にありがとうございました。先生方の所でご指導いただき勉強になったことは勿論のこと、どの先生方も患者さんに真心を持って診療にあたられており、患者さん自身「先生の所へ行ってよかった。」「先生のところに来たら安心する。」とおっしゃられていました。今回の研修を経て私も先生方のように患者さんから必要とされる医師になれるよう日々精進すること、当院はこのような素晴らしい先生方に日々支えられていることを実感しました。今後も私が経験させていただいた研修を後輩の医師たちも経験し、勉強出来ることを心から願います。この度はありがとうございました。



元北天満小学校（写真：北天満・中崎班）